

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ経営理念

郵政ネットワークの安心、信頼を礎として、民間企業としての創造性、効率性を最大限発揮しつつ、お客さま本位のサービスを提供し、地域のお客さまの生活を支援し…

郵便配達箇所数
3,000万か所/日

郵便局ネットワーク
2万4,000か所

通常貯金口座数
1億2,000万口

生保契約者等
1,692万人

② 中長期の経営戦略

1. 資源配分の最適化

物流分野や不動産事業への資金・人材配分を強化し、成長分野への積極的なリソースシフトを推進。

3. 人材・システムの変革

人的資本への投資を成長投資と位置づけ。社員体験価値向上とDX推進で、環境変化に適応可能な組織へ変革。

2. 郵便局ネットワークの進化

地域実情に応じた個性ある郵便局へ進化。サービス充実、柔軟な営業体制、店舗最適配置、窓口時間弾力化で生産性向上。

4. 収益力の強化

物流分野と不動産事業を成長分野として経営資源を積極投入し、成長の加速を図る。

③ 対処すべき課題

① 郵便物減少と競争激化

- ・ デジタル化に伴う郵便物減少への対応
- ・ 物流分野での競合他社との激しい競争
- ・ 諸物価・人件費上昇によるコスト増加

② 物流2024年問題への対応

- ・ ドライバー拆束時間減少への対応
- ・ 物流革新に向けた政策パッケージに基づく自主行動計画の実行
- ・ 改正物流総合効率化法・改正貨物自動車運送事業法への対応

③ コンプライアンス強化と不適切事案対応

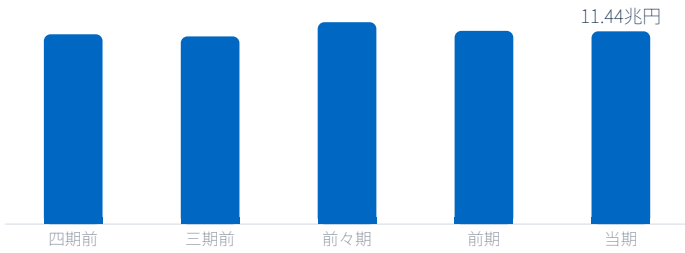
- ・ かんば生命保険募集品質問題の再発防止策定着
- ・ 非公開金融情報不適切利用事案の再発防止
- ・ 認可取得前勧誘事案・点呼業務未実施事案への対応

面接で使えるポイント

- ・ 全国約2万4,000か所の郵便局ネットワークで日々3,000万か所への配達を行い、1億2,000万口座…
- ・ JP ビジョン2025+で物流や不動産事業への資源配分を強化し、成長ステージへの転換を目指している。
- ・ DX推進と人材投資を通じ、人口減少やデジタル化に対応できる柔軟で強靱な組織へ変革中。

証券コード 6178

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
11.44兆円営業利益率
－（未開示）財務健康度
25点 / 100点

要するに

日本郵便、ゆうちょ銀行、かんぽ生命保険を主要な事業子会社として

主力事業・セグメント

- ・Life保険 49.3%
- ・銀行 25.1%
- ・Postal・物流 20.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高11.44兆円の超大型企業
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 曇り / 就活偏差値 56.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
872万円

サービス業内 45位/524社

平均年齢
43.1歳

サービス業内 108位/527社

平均勤続
15.9年

サービス業内 22位/527社

女性管理職
17.8%

サービス業内 202位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 55位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース一言

参考: 日本郵政グループがエンゲージメント向上クラウドサービス「モ

